



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社  
 コード番号 8129 URL <https://www.tohohd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長 CEO (氏名)濱田 矩男  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 広報・IR室長 (氏名)河村 真 (TEL)03(6838)2803  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	968,202	4.4	13,226	28.8	18,000	23.4	11,870	25.6
2019年3月期第3四半期	927,183	0.4	10,270	△7.5	14,592	△7.2	9,451	△4.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 16,455百万円(124.8%) 2019年3月期第3四半期 7,320百万円(△55.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	172.00	152.20
2019年3月期第3四半期	141.12	121.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	716,282	235,870	32.9
2019年3月期	663,727	213,848	32.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 235,703百万円 2019年3月期 213,680百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期第2四半期配当金の内訳 記念配当 5円00銭 普通配当 15円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,267,000	3.7	17,100	8.3	24,000	11.9	15,200	9.6	218.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	78,270,142株	2019年3月期	78,270,142株
2020年3月期3Q	6,489,538株	2019年3月期	10,120,311株
2020年3月期3Q	69,016,497株	2019年3月期3Q	66,973,075株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における医療用医薬品市場は、2019年10月に消費税率引き上げに伴う薬価改定が行われ、2.40%の薬価基準引き下げが実施されました。当社においては薬価改定の影響を受けたものの、がん治療薬などの新薬、スペシヤリティ医薬品、稀少疾病用医薬品の売上の伸長に加えて、初診受付サービスをはじめとする顧客支援システムの拡大により順調に推移しました。

当社グループは、医療・健康・介護に携わる企業集団として、患者様や医療機関が抱える課題を解決する顧客支援システムの開発・提案や地域包括ケアシステム構築への貢献など幅広い分野で存在価値を発揮する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革をグループ一体となって推進しております。また、物流の高機能化、配送回数の最適化、共創未来ファーマ製品によるジェネリック医薬品の集約化など収益性の向上のための施策にも取り組んでおります。

共創未来ファーマ製品については、2019年12月に1成分2品目を新たに発売するなど、引き続き、高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の安定供給とともに製品ラインナップの拡充につとめ、2019年12月末時点での販売製品は76成分164品目となっております。

当第3四半期の連結業績は、売上高968,202百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益13,226百万円（前年同期比28.8%増）、経常利益18,000百万円（前年同期比23.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,870百万円（前年同期比25.6%増）となりました。通期業績予想に対する進捗率は、売上高で76.4%、営業利益で77.3%、経常利益で75.0%、親会社株主に帰属する四半期純利益で78.1%となりました。

なお、当社連結子会社である東邦薬品株式会社は2019年11月27日に、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）を発注者とする医療用医薬品の入札に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立入検査を受けました。当社は、東邦薬品株式会社とともに、この度の事態を厳粛かつ真摯に受け止め、公正取引委員会の検査に全面的に協力しております。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業においては、引き続き、個々の製品価値に見合った単品単価交渉に努めるとともに、初診受付サービスや、薬局本部システム『ミザル』（ENIF本部から改称）、ENIFvoice SP+A、ENIFvoice Coreなどの当社独自の顧客支援システムの普及促進に取り組みました。また、薬局本部システム『ミザル』の活用による最適配送回数の実現に向けた施策の推進や薬局共創未来の会員との関係強化に取り組むなど事業基盤の強化にも努めました。その結果、当第3四半期の医薬品卸売事業の売上高は931,788百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益（営業利益）は13,605百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

調剤薬局事業においては、調剤報酬改定への対応を引き続き進めるとともに、ENIFvoice SP+AやENIFvoice Core、薬局本部システム『ミザル』などの顧客支援システムの活用による店舗業務の効率化や標準化による収益性の改善に取り組みました。また、薬局の機能変化に向けた施策として病院研修をはじめとする研修制度のさらなる充実も図っております。その結果、売上高は72,216百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,782百万円（前年同期比128.1%増）となりました。

治験施設支援事業では、売上高は191百万円（前年同期比18.3%減）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同期比58.0%減）、情報機器販売事業においては、売上高は958百万円（前年同期比12.0%増）、セグメント損失（営業損失）は38百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.3%増加し、518,995百万円となりました。これは、現金及び預金が5,418百万円、受取手形及び売掛金が32,322百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.0%増加し、197,286百万円となりました。これは、投資有価証券が9,359百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.9%増加し、716,282百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、429,624百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が37,779百万円増加し、1年内償還予定の社債が7,955百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、50,786百万円となりました。これは、繰延税金負債が1,832百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、480,411百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10.3%増加し、235,870百万円となりました。これは、利益剰余金が9,443百万円、その他有価証券評価差額金が4,584百万円それぞれ増加し、さらに自己株式が7,291百万円減少したこと等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月7日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	79,607	85,026
受取手形及び売掛金	287,205	319,528
有価証券	-	10
商品及び製品	78,590	78,180
その他	34,233	36,433
貸倒引当金	△209	△182
流動資産合計	479,427	518,995
固定資産		
有形固定資産	89,095	93,548
無形固定資産		
のれん	1,360	927
その他	2,620	2,663
無形固定資産合計	3,981	3,591
投資その他の資産		
投資有価証券	80,676	90,036
その他	13,080	12,580
貸倒引当金	△2,533	△2,470
投資その他の資産合計	91,222	100,146
固定資産合計	184,299	197,286
資産合計	663,727	716,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	374,322	412,102
短期借入金	586	613
1年内償還予定の社債	7,955	-
未払法人税等	4,204	2,337
賞与引当金	3,428	1,642
役員賞与引当金	71	53
返品調整引当金	349	387
資産除去債務	25	-
その他	9,321	12,488
流動負債合計	400,265	429,624
固定負債		
社債	20,083	20,068
長期借入金	5,594	5,429
退職給付に係る負債	1,986	2,036
資産除去債務	1,094	1,136
負ののれん	7	-
その他	20,845	22,115
固定負債合計	49,612	50,786
負債合計	449,878	480,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	48,566	49,271
利益剰余金	151,943	161,386
自己株式	△20,257	△12,965
株主資本合計	190,902	208,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,285	31,869
土地再評価差額金	△4,507	△4,507
その他の包括利益累計額合計	22,777	27,362
新株予約権	168	167
純資産合計	213,848	235,870
負債純資産合計	663,727	716,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	927,183	968,202
売上原価	845,007	881,426
売上総利益	82,176	86,776
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	34,671	34,903
賞与引当金繰入額	1,690	1,632
役員賞与引当金繰入額	51	53
退職給付費用	167	173
福利厚生費	5,998	6,069
車両費	905	824
貸倒引当金繰入額	△27	△59
減価償却費	3,388	4,078
のれん償却額	1,199	487
賃借料	5,360	5,850
租税公課	1,308	1,598
仮払消費税の未控除費用	3,924	4,290
その他	13,265	13,648
販売費及び一般管理費合計	71,905	73,550
営業利益	10,270	13,226
営業外収益		
受取利息	62	56
受取配当金	1,115	1,163
受取手数料	2,363	2,409
負ののれん償却額	14	7
持分法による投資利益	35	64
その他	1,143	1,350
営業外収益合計	4,734	5,050
営業外費用		
支払利息	22	22
不動産賃貸費用	203	193
その他	186	60
営業外費用合計	412	276
経常利益	14,592	18,000



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	17	15
投資有価証券売却益	0	65
その他	1	15
特別利益合計	20	96
特別損失		
固定資産処分損	58	46
減損損失	68	107
関係会社株式評価損	-	53
その他	12	33
特別損失合計	140	241
税金等調整前四半期純利益	14,472	17,854
法人税、住民税及び事業税	4,207	5,829
法人税等調整額	813	154
法人税等合計	5,020	5,983
四半期純利益	9,451	11,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,451	11,870

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	9,451	11,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,132	4,536
持分法適用会社に対する持分相当額	0	47
その他の包括利益合計	△2,131	4,584
四半期包括利益	7,320	16,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,320	16,455
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	856,834	69,443	234	671	927,183	—	927,183
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	35,921	230	—	183	36,335	△36,335	—
計	892,755	69,674	234	855	963,519	△36,335	927,183
セグメント利益又は損失(△)	10,976	781	61	△93	11,725	△1,454	10,270

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	895,312	72,027	191	671	968,202	—	968,202
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,475	188	—	286	36,951	△36,951	—
計	931,788	72,216	191	958	1,005,153	△36,951	968,202
セグメント利益又は損失(△)	13,605	1,782	25	△38	15,374	△2,148	13,226

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。